

2 | 特集

レポート・論文作成 ステップbyステップ

ー初めてレポートを書く人のためにー

10 | しまだい資料探訪⑨

新しく収蔵された山陰の 「魚漁図解」

伊藤康宏 (生物資源科学部教授)

8 | 書評

『アンダー・ザ・ドーム』『ペソアと歩くリスボン』
『手紙』『青い鳥』

12 | 図書館員のお仕事

ILL(文献複写/現物貸借)サービス
ー全国を飛びまわる図書や文献資料ー

14 | 情報活用ステップアップ講座③

レポート・論文作成、研究に役立つ
データベースを使いこなそう

16 | 自著紹介 本学職員著作の寄贈

『神話論理の思想』・『読解レヴィ=ストロース』
『基準看護計画』

17 | 出版報告

『ニューオーリンズとラフカディオ・ハーン』

18 | 図書館コンシェルジュ報告

19 | 研修報告

19 | イベント&ニュース



レポート・論文作成 ステップ by ステップ

初めてレポートを書く人のために

レポート・論文とは

大 学生になって、レポートの提出を求められたり、卒論のために文献の調査をする場合、何をどうしていいのかわからない人は多いのではないのでしょうか。

レポートや論文は、「根拠に基づいて自分の意見や主張を述べた文章」です。レポートの書き方を知らないと思ってしまうのが、ただの作文や感想文になってしまいます。

左図はレポート・論文作成のプロセスをまとめたものです。あせらず、一段一段ゆつくりと取り組むことが大切です。

自分の意見を根拠のあるものにするためには、先行研究やその他の情報を集め、調査分析することが必要です。

文献の収集方法（ステップ4・5・6）については、しっかりマスターしてください。

●レポート・論文を書く10のステップ

ステップ1 テーマの選択

ステップ2 事前調査

ステップ3 仮アウトラインの作成

ステップ4 関連文献の調査

ステップ5 文献の入手

ステップ6 文献の読解と整理

ステップ7 最終アウトラインの作成

ステップ8 執筆・校正

ステップ9 出典の表示

ステップ10 仕上げ

(野末俊比古、仁上幸治「レポート・論文を書こう！：誰にでも書ける10のステップ」、日本図書館協会監修、紀伊國屋書店、2007.40p.より)

step 1・2

まず、与えられたテーマについて基本的な概念や用語を理解するために、事典、ハンドブック、入門書などを参考にしましょう。

- ・百科事典、白書、統計、データブックなど
- ・テーマに関連する図書は、OPACを使ってキーワードや分類番号で検索します。
- ・ジャパンナレッジは、各種用語、語学辞典、人名事典などを横断的に利用できるデータベースです。

ライム博士の授業のレポートのテーマ、もう決めた？

「島根県の過疎問題」にするよ。

そうだね。どういう視点で取り上げるか、内容を絞らないとね。

過疎といってもいろいろな問題がありそうね。

さて、ライム博士からレポートの課題を出されたけんさくくんとみいちゃん。教育開発センターの森先生にコツを教わりながら、初めてのレポート作成に挑戦します。

レポートの書き方 初年度学生編

森 朋子

(教育開発センター 准教授)



大 学においてレポートを書く機会は大変多いものです。学期末に試験の代わりに提出する、ゼミなどで書く、実験結果をまとめて書く、授業で出席代わりにミニレポートを提出するなど、あらゆる場面で要求されます。レポートを的確に書くためには、ある物事の現状を的確に報告し、それに関する自らの思考を言語化しながら書式に従って表現する能力が必要です。マークシートや○×方式のテストとは違い、やっかいですよね。それは評価する教員にとっても同じです。一斉試験などとは違い、レポートの課題はひとつひとつを熟読するため、採点に大変長い時間がかかります。それでも課題としてみなさんに課するのは、レポートの中に個々の学生のみなさんの意欲や姿勢なども感じられること、さらに「覚えてたかどうか」ではなく、「何をどのように考えるのか」さらに、「何をどのように考えたのか、そのプロセス」をそこから読み取ることができるからです。つまりレポートは、みなさんを知る大事な機会なのです。

ものを組み立てて行く場合には、そのプロセスを明らかにしなければ、なぜそこに至ったのかが分かりません。このように大学では「暗記」という大学受験まで必要であった能力に入れ替わって、「深く考え、深く理解する力」が求められています。そしてその育成には、思考のプロセスを提示しながら論を展開するレポート課題が最適な方法である、ということになります。「暗記する」ことが勉強で、暗記した成果がテスト結果だと思っていた新入生のみなさんはその学習観を転換しなくてはなりません。みなさんが暗記した知識は「深く考える」ことを通じて違う場面で応用され、他の知識と関連づけて統合することで「深く理解」することができます。このような学習は今後大学のみならず、社会においても必要な力となるので、この機会にぜひみなさんの「文章を書く力」を磨いてください。

1. レポートの種類

レポートには、いくつもの種類があり、さらに担当する教員がどのような指示を出しているのかによっても違うため、どのように書いたらよいのか大変頭が痛いところです。そこで今回はレポートが持つ特徴を挙げながら、大まかなところを説明します。

大学の授業で課せられるレポートは、大きく次の2つのことが求められています。①意見を言う②事実を報告する、です。多くのレポートは、どちらか1つではなく、事実を報告した上で考えを主張するという、この2つを組み合わせ

せたミックスタイプとなります。そこで生じる問題が、「意見」と「事実」の混乱です。

「〇〇村では過疎化が進んでいる」とある場合、これがなんらかの人口調査に基づいた事実であるのか、主観的な感想なのか、また何かの本に書いてあった意見なのかはつきりしません。意見と事実は明らかに異なっているものです。主観的な判断が入っている、人によって印象が変わり得るのが「意見」であり、それとは反対に主観的な判断が入っておらず、述べる内容が人によって変わったりしないのが「事実」だということになります。これらを明確に区別し、読み手にどこが事実でどこが意見なのか明確に分かるレポート、それがよいレポートだと言えます。

高校までは主に「意見」や主観的感想を述べるのが重要視されていましたが、大学ではより客観的な「事実」を求められていることを忘れないでください。

次にレポートの構成(内容)と書式(書き方)とマナーについて簡単に説明します。

2. レポートの構成

レポートは主に「序論」「本論」「結論」の3部構成です。すべてのレポートが必ずこうなっている、ということではありませんが、典型的なパターンであると考えてください。

(1) 序論

序論は問題提起を行う部分です。

どんなことを問題(リサーチクエッション)として扱うのか、そして「それはなぜか」を具体的に書きます。その際、「以前から興味があったから」や「担当の先生に言われたから」などという個人的な理由は序論として適当ではありません。授業の課題レポートの場合は、テーマが決められている場合もあるので、その際にはこの部分は省略します。

過疎地の高齢化と人口減少によって引き起こされる問題について調べてみるよ。

少子高齢化が叫ばれているけど、統計からも過疎地ではその割合が大きいよね。

step3

テーマに関連する情報を集めていくうちに、だんだん考えがまとまってくる。ここでレポートの組み立てを箇条書きにして、仮アウトラインを作成しておきましょう。

(2) 本論

本論はレポートの中でも一番ボリュームがある、いわゆる体の部分です。実際に調べた資料やデータを用いて論を展開します。内容としては、①調べた方法、内容、結果(事実)、②わかったこと(考察)などを記述しますが、本論では特に「事実」が重要な役割を果たし、読み手が納得できるように①から②が導きだされているかが鍵となっています。

①の「調べた方法、内容、結果」には、大きく分けて2種類あります。文献調査と、フィールド調査です。文献調査は

主に先行研究とも関係があり、「過去に行われたそのテーマの研究」について、「どの部分まで明らかにしているのか」を示すものです。複数の文献を比較検討し、これまでの議論をまとめて記すことも必要です。フィールド調査では、実際に現実社会においてデータ収集します。自然科学系の実験データもこれに当たります。人文社会科学系の分野ではフィールド調査が必要ない場合もありますが、「ここから先が分からない」「または「文献調査ではこうなっているが、違う条件で検証を行う」など、様々なフィールド調査を行い、その結果を「事実」として記述します。

調べた結果、わかった「事実」は主にデータが語りますが、データは「意見を言う」ための「根拠」になるものです。データに不安がある場合、意見が説得力のないものになることを理解してください。

step4・5

テーマが決まったら、まずは、文献調査をしないといけないね。

文献はどうやって探せばいいのかしら？

これは図書館で聞いてみるのが一番だよ。

レポートの内容を充実させるためにはテーマにあった文献をきちんと集めることが重要です。

ここで、図書館を上手に利用できるかどうかでレポートの仕上がりに大きな差が出ます。文献の検索と入手方法は6ページで詳しく説明しています。

情報の収集はこれで十分かな。

集めた文献は整理しておかないとだめね。

step 6

文献の読解と整理をしよう。
・内容を整理・分析し、情報カード、パソコンなどに記録します。
・文献リスト(出典がわかるもの)を作ります。

文献の管理には **References** が便利。

データベースから収集した文献を **My** のフォルダに蓄積・管理できるツールです。

- ・引用文献リストが作成できる。
- ・大学以外からも利用できる。
- ・情報の共有化ができる。
- ・検索式を保存できる。

(3) 結論

ここでは、本論の「調べた結果」を序論で記した問題提起やリサーチエッセンスに関連づけ、問いに対する解を示します。本論で分かったことから、書き手がどのような論を展開し、リサーチエッセンスへの解を導くのが鍵です。

だんだん考えがまとまってきたよ。

step 7

仮アウトラインを見直し、序論・本論・結論を再構成します。

よかったわね。レポート書けそうね。でも、どんなところに気をつけて書いたらいいのかしら。

いよいよレポートの執筆に取りかかります。
その前に、レポートの書式とマナーについて確認しておきましょう。

3. レポートの書式とマナー

学術の世界において、書式は大変重要です。書式が整っていないレポートや論文は、内容がいくらすばらしくても評価が低いものになってしまいます。決まった書式を用いて、内容を確実に分かりやすく伝えるよう努力と工夫をすることが不可欠です。

字数はどうしたらよいの？

担当教員の指示に従います。「〇字以内」であれば、それより多く書いてはいけません。反対に極端に少なすぎると、読まれる前にハジかれてしまい、評価すらしてもらえない可能性があります。

ワープロで書く？

1年生の皆さんには、すべてのレポートをワープロで仕上げるというの、なかなかハードルが高いことですが、基本はワープロ仕上げです。特に指定がない場合はA4用紙に横書きで書きます。1行40文字で1ページに30行が標準的な文字数です。

語尾はどうする？

話し言葉ではなく書き言葉を用

います。「である・だ」調と「です・ます」調を混在せず「である・だ」調に統一します。

段落分けってどうするの？

段落としてテーマをまとめることで、格段と読み手が内容を理解しやすくなります。1つの段落では、1つのテーマを原則としてください。

表紙はつける？

特に指示がなければ表紙をつけましょう。指定のものがなければ、自分で作成します。その場合は、レポートのタイトル、講義名、所属、学籍番号、氏名、提出日等を明記します。本文とばらばらにならないようにホッチキスでとめるのを忘れないでください。

引用するってどういうこと？

レポートを書く上で参考になった図書や論文などにある誰かの意見をそのまま使って自分の主張をする、また他の人がすでに行った調査結果をそのままレポートに掲載する場合は、必ず、引用部分を「」で囲み、引用したことを明らかにしなくてはなりません。またどの文章から引用したのかも明記します。記述の仕方は学問分野によってまちまちなので、担当教員の指示に従ってください。

引用のルールを知らなかったらどうなるの？

図書や雑誌、新聞、インターネット上の情報から文章を丸写ししたのにもかかわらず、あたかも自分の意見のように掲載した場合は、「盗作」とみなされ、大学に関わらず、一般社会において著作権を侵害した犯罪行為として扱われます。特にインターネットからのコピー&ペーストは、複数の学生が同じ主張をしている場合が多いので、すぐに怪しいとピンとききます。ルールを守らなかったことで成績が下がるだけでなく、深刻な場合はカンニング扱いにもなりかねません。

以上、いかがでしょうか？ますますレポートを書くことが難しく感じられたでしょうか。レポートを書く、ということは突然にできるようになるものではないかもしれません。いろいろな授業で訓練し、クラスメイトの優れたレポートを読むことを少しずつ積み重ねることで身に付くスキルです。まずは怖がらず、苦手意識を持たずに書いてみることをおすすめします。

本学では初年次教育を積極的に行っています。初年次教育とは、高校から大学へのスムーズな移行を目的としている教育プログラムで、専門教育をベースにレポートの書き方やプレゼンテーションの仕方等のスキルを学ぶきっかけを作ります。初年次教育は学科・分野ごとに開講されている他、教養教育で教育開発センターが全学向けの初年次教育を開講しています。また図書館には初年

step8・9・10

・執筆
文献・調査結果を利用し、アウトラインにそって執筆します。事実の列挙ではなく、自分の意見が伝わるように書きましょう。

・校正—必ず見直しましょう。書式は正しいか
内容が抜け落ちていないか
誤字脱字はないか
引用・参考文献の書き方は正しいか

・出典の表示
本文の引用箇所に注をつけ、巻末に引用文献リストをつけます。

・仕上げ
形式を整えて、期日までに提出します。

次教育用の書架が設置されており、専門の入門書に混じってレポートの書き方に関する書籍も利用できるようなになっていますので、ぜひ図書館に行つて実際に手に取つてみてください。

1つの授業を受講しただけではすぐに上手に書けるわけではありませんが、このような初年次教育授業や図書館での取組みを積極的に活用し、ぜひ大学において「深く考え、深く理解する」学習方法を身につけてください。

(もり ともこ)

●レポート・論文作成に役立つ図書（本館所蔵）

請求記号	書名	著者	出版者	発行年
007.3/P83/3	レポート・論文を書こう! : 誰にでも書ける 10 のステップ (DVD)	ポルケ製作	紀伊國屋書店	2007
081/B89/165	小論文の書き方	猪瀬直樹	文芸春秋	2001
081/C44/キ-1-1	レポートの組み立て方	木下是雄	筑摩書房	1994
081/Ko19-2/2021	新版 大学生のためのレポート・論文術	小笠原喜康	講談社	2009
816.5/H56	やさしい文章術 : レポート・論文の書き方	樋口裕一	中央公論新社	2002
816.5/I99	論文&レポートの書き方	泉忠司	青春出版	2009
816.5/Ki29	大学生のための論理的に書き、プレゼンする技術	菊田千春、北林利治	東洋経済新報社	2006
816.5/Ko76	レポート・論文の書き方入門 3 版	河野哲也	慶応義塾大学出版会	2002
816.5/Sa29	これからレポート・論文を書く 若者のために	酒井聡樹	共立出版	2007
816.5/Sa29	論理性を鍛えるレポートの書き方	酒井浩二	ナカニシヤ出版	2009
816.5/Sh8	よくわかる卒論の書き方	白井利明・高橋一郎	ミネルヴァ書房	2008
816.5/Ta52	大学生のための「論文」執筆の手引 : 卒論・レポート・演習発表の乗り切り方	高崎みどり	秀和システム	2010
816.5/Ta74	はじめての論文作成術	宅間紘一	日中出版	2008
816.5/W41	卒論・ゼミ論の書き方	早稲田大学出版部編	早稲田大学出版部	2000
816.5/Ya86	大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方 2 版	吉田健正	ナカニシヤ出版	2009
情報検索				
007.58/G16	理・工・医・薬系学生のための学術情報探索マニュアル	学術情報探索マニュアル編集委員会編	丸善	2006
007.6/Ka22	文系のための情報リテラシー	梶川裕司、村上正行共編	オーム社	2004
007.6/Sh42 007/SHI (医学図書館)	学術情報リテラシー : 情報活用能力の向上のために 改訂第 1 版	島根大学学術情報リテラシー編集委員会編	島根大学	2010
Word				
007.638/Sh43	論文・レポート作成に使う Word2010 活用法	嶋貫健司	カットシステム	2011
582.33/U51	論文を書くための Word 活用法	上山あゆみ	くろしお出版	2009
著作権				
021.2/Mi84	学術論文のための著作権 Q&A 改訂 2 版	宮田昇	東海大学出版会	2008

●文献の種類と検索ツール

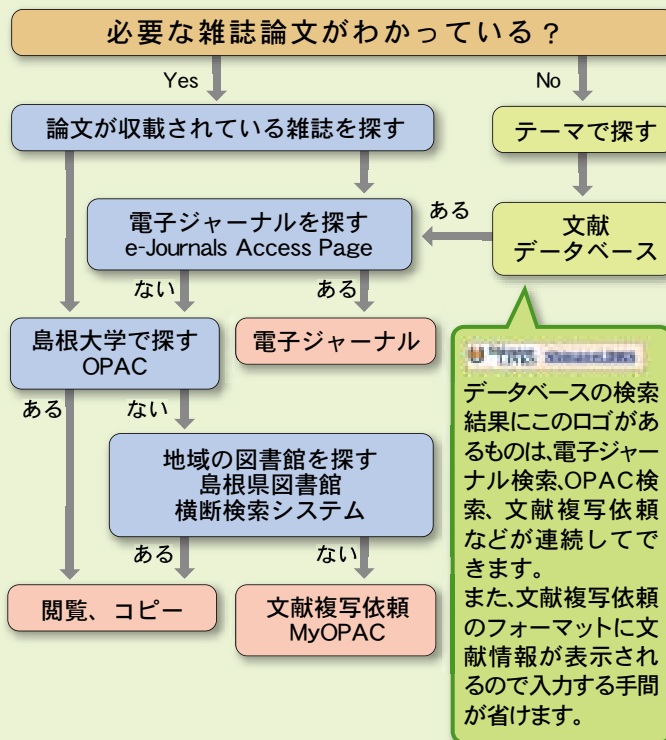
文献の種類	特 徴	検索ツール
図 書	ある程度の分量でまとまりのある内容が収録されている。体系的に知識を深めることができる。	・島大 OPAC ・Webcat Plus
雑 誌 (論文・記事)	テーマについての最近の話題や、具体的な研究内容についての情報を知ることができる。速報性がある。	・日本語論文全分野：CiNii ・科学技術・医薬分野：JDream II、医中誌 Web ・学術機関リポジトリポータル：JAIRO ・英語論文：Web of Science、PubMed ・電子ジャーナル
新 聞	最新のニュースや過去の出来事を知ることができる。	・新聞記事データベース 聞蔵II (朝日新聞)、ヨミダス歴史館 (読売新聞)、日経テレコン 21 (日本経済新聞) ・切抜速報
統 計	政府や公的機関が実施する統計調査に基づくデータ。テーマについての関連情報を知ることができる。Web 上で提供される場合が多い。	・統計・白書・官報 ・国会会議録、法令、判例
参考図書	用語の確認や理解の手がかりとなる。	・百科事典 ・分野ごとの便覧、ハンドブック ・ジャパンナレッジ
Web 情報	広く情報を集めることができるが、検証されていないものもあるので注意が必要。	・インターネット検索エンジン

レポートを根拠のある充実したものにするためには、文献を収



集し分析することが大切だということ。図書館は情報の宝庫。利用しない手はありません。一口に文献といっても図書、雑誌論文、新聞記事、報告書など様々な種類があります。テーマにあった文献を広く探すためには、適切なツールを利用することが大切です。

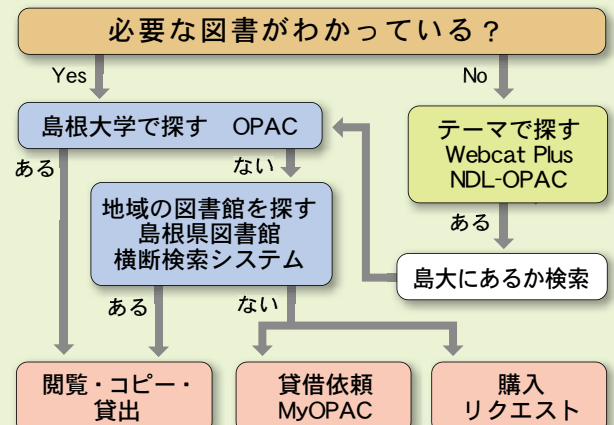
雑誌論文



上手に文献をGetしようね！



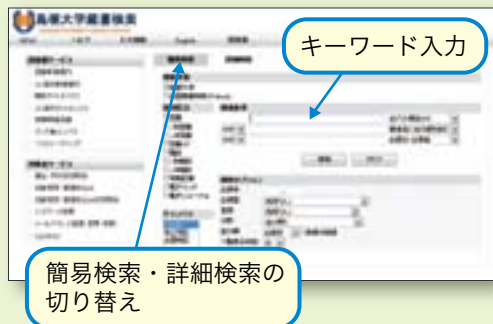
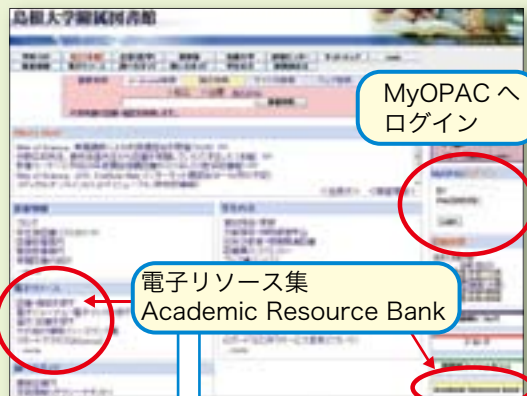
図 書



文献検索の結果から必要な文献を入手します。図は文献検索から文献入手までの流れ図です。

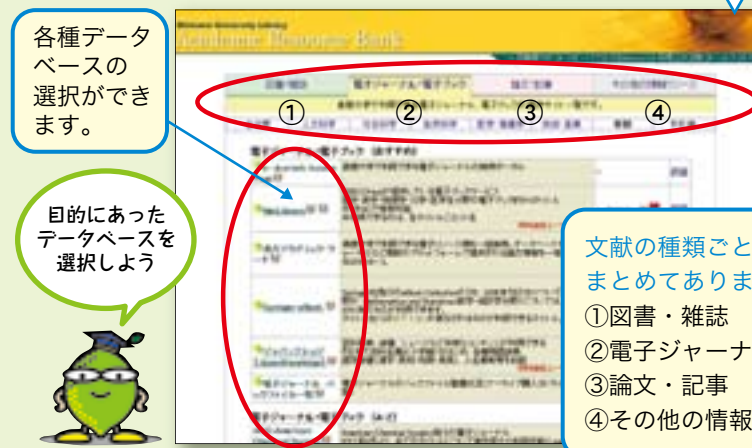
文献検索から入手まで

【OPAC 検索画面】

【図書館ホームページ】<http://www.lib.shimane-u.ac.jp>

文献情報へのアクセス

【Academic Resource Bank】



☒ 書館ホームページは、学術情報のポータルサイトとして機能しています。島根大学に所蔵している図書や雑誌を探すための「OPAC」や、各種データベースや電子ジャーナルなどを集約した「電子リソース集」、自分だけのポータルサイトを構築できる「MyOPAC」などのサービスを提供しています。

各種データベースの使い方は講習会や、カウンター職員にお尋ねください。

学

生にまずは「こんな文献に目を通してほしい」、「レポートを書くときはもっと資料を使つてほしい」等、こんな悩みを持った教員の方にお勧めします。パスファインダーをつくってみませんか？

パスファインダー(Pathfinder)とは、一つの主題に関する資料・情報源について、その収集手順をまとめた、一枚物のリーフレットのことを指します。つまり一つの主題に注目して、図書や雑誌、データベース等の様々な情報源を厳選し、まとめたものです。複数の情報源を紹介することで、段階を追って調査を進める手順を示すことができます。また情報源を厳選することで、最も基本的な資料だけを提示することになり、該当の主題に精通していない学生にも利用しやすい内容になります。

学生にとって、初めて直面する主題への学びを深める最初のステップに、パスファインダーはなり得ます。また、レポート・論文作成時にも、事前調査や関連文献調査に役立ちます。パスファインダー作成にはいくつか注意点ががあります。一つは適切なキーワードを明記することです。

教員の方へ
つくってみませんか
パスファインダー

これは学生自身での資料検索を支援するため、パスファインダー掲載の資料だけに促されることを防ぎます。また、パスファインダーは「つくる」のその先、「つかう」が重要です。学生が積極的にパスファインダーを「つかう」べく、授業や課題に取り入れる等の工夫が必要になります。作成してから一定期間経過したときには、リンク切れや改版の有無の確認、情報源の入れ替えのための更新も必要です。

図書館では現在、「情報検索支援」という名称で、いくつかのパスファインダーを公開しています。パスファインダー作成は図書館もお手伝いいたしますので、お気軽にお声掛けください。

主題を一つ決めて、タイトルにします。

資料検索に適切なキーワードを表示します。

厳選した情報源をその種類ごとに分けて紹介します。その情報源がどこにも明示します。





ペソアと歩くリスボン

フェルナンド・ペソア 著

彩流社

1999.7

人文社会科学研究科修士2年

佐藤陽子

「ポルトガル」と聞くと、つい南米かアフリカにある国のように思ってしまう人も少なくないのは、ブラジル等でポルトガル語が公用語となっているせいなのかもしれません。著者も「現実に、ポルトガル以外の平均的な全世界の人々にとって(スペイン人を除いては)、ポルトガルとは、ヨーロッパのどこかにある、なんだかよくわからない小さな国である」と述懐しているほど。これは、そんな知名度の低い祖国に光を当てようという意気込みが見える観光案内書なのです。

かといって、『地球の歩き方』のようにポルトガル全土をコンパクトにまとめているわけではありません。「七つの丘の町」と評されるリスボンに焦点が絞られ、まるで読み手自身が歩いているかのような詳細な描写によって、その見所が浮き彫りにされています。写真も載っているのですが、そこからは見えてこない町の裏側まで触れた心地になれるでしょう。実際に私自身がポルトガルを旅した時に持ち歩いたのですが、(開館時間や入館料等についての記述はともかく)リスボン探索のお供にしても遜色ありませんでした。

しかしながら、ポルトガルといえば、リスボン空港こそが玄関口という印象を持つ日本からの観光客にとって、冒頭におかれているテージョ川栈橋への下船場面だけは少し違和感があるかもしれません。ここでお知らせしておきたいのは、著者が1888年生まれだということです。つまりこれは、船と馬車がまだ重要な足であった当時の旅行の雰囲気を楽しむ読み物にもなっているのです。

(さとう ようこ)

【本館1階閲覧室 969.8/P85】



アンダー・ザ・ドーム

スティーヴン・キング 著

文藝春秋

2011.4

法文学部 社会文化学科4年生

藤本雄一

世界中に大勢のファンがいるスティーヴン・キングだが、多くの人が彼の小説を楽しむのはなぜだろうか。正直、その魅力について考えていけば、たった600字足らずの原稿には到底おさまらないだろう。例えば、さまざまな作品に現れる、魅力的で読者の心をわしづかみにする主人公や、逆にとても嫌悪感を持ってしまう悪役たち、また不条理でとてもホラーな設定。それらはキングの魅力のほんの一部にすぎないかもしれないが、とても大きな部分でもある。そんな中で、これぞ彼の設定、これこそ彼のキャラづくりだ、と大いに読者を喜ばせる作品が、この『アンダー・ザ・ドーム』だ。

物語は、現代のアメリカ、ある田舎町に謎の透明な障壁が突如現れたところから始まる。正直、この一文をこうやって書いたところで、とんでもない設定過ぎて、こんなのうまく描けるはずがないと思って普通なら読まないだろう。しかし、この作品は違うのだ。細かく描写された町の様子や、複雑かつシンプルに絡み合う人間関係。こういう言い方は陳腐かもしれないが、まさに「主人公たちの隣に自分がいるような」感覚を呼び起こさせられる。中盤、主人公たちが次々とピンチに見舞われる場面など、自分のことのように胸が苦しく、途中で読めなくなってしまったほどだ。分厚いので少し時間がかかるかもしれないが、ドキドキしたり、熱く燃えたりしたいなら、是非読んでみることをお勧めする。

(ふじもと ゆういち)

【本館1階閲覧室 933.7/Ki43】

青い鳥

重松 清 著
新潮社
2007.7
医学部 医学科4年
大内苑子



小、中、高と、「学校」と名前が付くところはいくつかあるが、中学校は特別だ。算数は数学になって、初めての受験があって、部活に入って、先輩や後輩ができる。制服があって、校則があって、ちょっと息苦しい。だんだんと周りのことが気になりだして、妬んだり、やかんだり、自慢したり、意地をはってみたい、「私、嫌われてないかな」「あの子、嫌いだな」、イライラしたり、悲しくなったり、本当に忙しい。少しずつ大人になりかけてるけど、先生の言うことは絶対に、なんとなく違うと思っても、そんなこと、言えない。

この本には8篇の物語が収められている。たくさんの中学生が登場するが、この本のどこかで、当時の自分にきっと出会える。

そして当時の私は、この本の中で、村内先生に出会う。

村内先生は中学校の非常勤講師。国語の先生なのに、言葉がつかえて、うまく話せない。どんなに言葉がつかえても、本気で言わなければいけないことは本気で言いますーと、めちゃくちゃに言葉をつかえさせながら言った。

ぼくたちは、いま、罰を受けている。「もう終わったことなんだよ、なに考えてんだよ、あいつ」もう終わったことなのだ、本当に。ぼくたちはみんな、自分のやったことを反省した。後悔もしているし、野口に謝りたいとも思っている。ほんとうだ。

「俺ら、ほんとに野口のこといじめてたのかなあ。俺、マジ、そんなつもりなかったんだよ。…笑ってたよな、あいつ」

十月に、あれほどたくさん作文を書いてきたのに。何度もクラスで話し合いをして、中学生にとっていちばん大事なものは友情と思いやりなんだと確かめ合ったのに。十一月になって、村内先生がクラス担任になってから、僕たちはみんな不機嫌になり、イライラするようになった。あの先生が一度は片づけた野口の机と椅子を教室に戻したせいだ。

いじめがあって、それを「反省」して、もう落ち着きを取り戻した学校に、村内先生はやってくる。先生が生徒たちに伝えたかったこととは…？

著者はあとがきで、「子供の頃に出会いたかったひとをヒーローの定義とするなら、やはり、『青い鳥』は僕にとって紛れもないヒーローの物語なのである」と書いている。中学生の頃の自分に、村内先生が優しく語りかける。心が温かく、やわらかく、ほどけていく、そんな気持ちになる。

(おうち そのこ)

手紙

東野圭吾

手紙

東野圭吾 著
文春文庫
2006.10

医学部 看護学科3年
林 倫可

貧しくとも兄と協力し合い普通の高校生活を送っていた直樹。しかし、弟を想いすぎる兄・剛史の行き過ぎた愛情ゆえの浅はかな行動が、その後の二人を苦しめることとなる。もがいてもがいて必死に生き、二人が出した答えとは。二人が得るもの、失うものとは…。誰もが持っているであろう心の傷。その傷を背負いながら、私たちは必死に生きていると思う。その中で、何を不得何を得ているのか、また何が正しくて何が間違っているのかは、この二人のようにならずと後になってからでないと分からないのだと考えさせられた。

苦しいときについつい見失いがちな相手の感情、自分の汚さ欲深さ。しかしそれを見落としてはいつまでも八方塞がりのままであり、何も見えてはこない。苦しくとももう一度原点に立ち返り、相手の立場から考え直すこと、嫌な自分と向き合うこと。そうすることで視野も広がり今まで見えなかったものも見えてくる。これが、先に述べた「ずっと後になって」と繋がってくるのだと思う。

主人公二人がたどっていく人生の奥深さ・結末が涙させ、「私は手紙など書くべきではなかったのです」という言葉が、とても印象深い。映画を観た人も観ていない人も、是非読んで心を潤して欲しい1冊！

(はやし みちか)

第9回

しまだい
資料探訪

新しく収蔵された山陰の「魚漁図解」

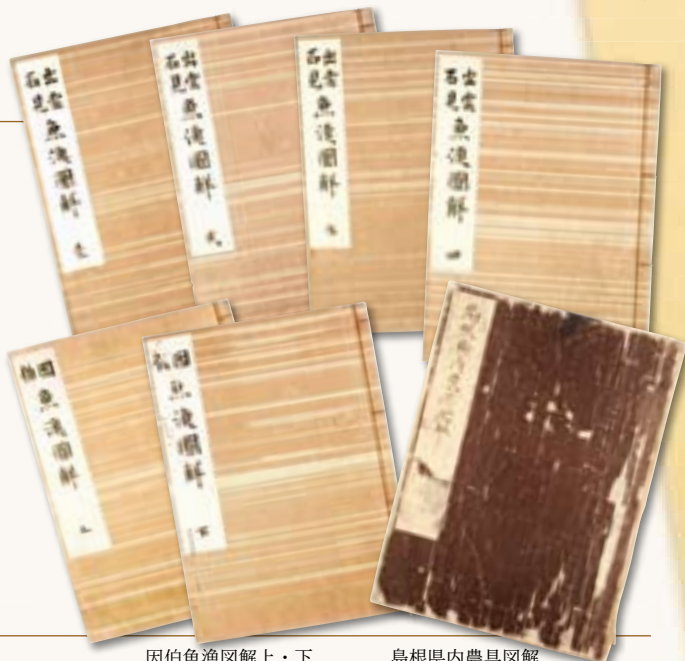
一 伊藤康宏 / 生物資源科学部教授

はじめに

明治政府は殖産興業策の一貫として明治十四年（一八八二）に第二回内国勸業博覧会を東京で開催した。島根県からは当時使用されていた農具・漁具を調査した「島根県管内農具類集図」と「島根県管内漁具類集図」が出品された。現在、前者の草稿本とみられる「島根県内農具図解」が本館の田中文庫に、後者の写しが「島根県下漁具図説」の題名で東京国立博物館に、それぞれ所蔵されている。

ところで平成二十年（二〇〇八）春に東京神田の古書店目録に「出雲石見魚漁図解」四冊と「因伯魚漁図解」二冊がはじめて掲載された。これはこれまでまったく知られていなかった貴重な郷土資料とみられたため、本館がその年度に入手した。本資料は、巻頭と巻末に当たる部分が無く、制作者や制作年さらに制作の

出雲・石見魚漁図解巻～四



因伯魚漁図解上・下

島根県内農具図解

一 本資料の構成と内容

「出雲石見魚漁図解」「因伯魚漁図解」は、図と解が基本的にセットになつて漁業の近代前、すなわち漁船の動力化前の時代の山陰の漁業一六四種が取りあげられている。解説の部分は、「器名」「器具ノ製」「使用法」「地名及地形」「期節」「漁獲名称」の順番で構成されている。「出雲石見魚漁図解」は表式、参、四の四冊の構成で、図と解を合わせて合計一〇五点、延べ一〇六点になる。この内訳を水域ごとに見ると、海面で使用された漁具、例えば鰯魚網、青花魚網、鰯地引網などが六四点、内水面では斐伊川・江の川・高津川等の河川と神西湖で使用された漁具が二五点、宍道湖（本来は内水面に分類）で使用された漁具が九点、さらに中海（漁場区分としては海面に分類）で使用された漁具が八点である。なお、題名には隠岐が入っていないが、本文には隠岐の漁業も少なからず取りあげられている。一方、「因伯魚漁図解」は上・下の二冊で、上は網漁業中心に、下は雑漁業中心に、両者合わせて図解五八点が収録されている。

つぎに紙幅の關係で中海と宍道湖はかの内水面漁業を中心に見ていくが、近年、民俗学、歴史学の分野で新たな視点とし

て注目されている「自然知」や「水産知」についても触れておきたい。ⁱⁱ⁾

二 中海の魁蛤引桁網



「魁蛤引桁」

かつて中海の特産物であつたアカガイ、標準和名はサルボウ、藻貝であるが、本文では「魁蛤」と表記されている。「出雲石見魚漁図解」式の最初に「魁蛤」引桁が出てくる。説明の順序は「器名」「器具ノ製」「使用法」「地名及地形」「期節」「漁獲名称」と続く。「魁蛤」引桁の使用法は、「漁夫一人漁船、^{方言ソリコ}二乗リ桁ヲ水中ニ投シ、櫓ヲ以漕ク」とある。このあと、漕ぎ方の説明が続く、文中の後半の箇所に「魁蛤ハ釘ノ背面ヨリ転シテ袋中ニ入ル様作りタルモノナリ、之ヲ曳クニ大ニ巧拙アリト云フ」とある。すなわち、これを引くには技術を要し、上手、下手で捕る量が変わってくるという。「地名及地形」、すなわち主な漁場は能義郡の安来近辺としてい

「方書」^{イカシラ}とある。これは、三月から六月までの期間に赤貝の稚貝を採取し、それを沖に数ヶ月、放流し、蓄養する方式地まき式^{イカシラ}が取られ、中海の地方ではこの手法を「活かし」と称している。その後、冬季に成貝となった赤貝を採捕し、販売している。この頃になると赤貝は成貝として商品価値が高まり、かつ冬の味覚として需要が高まる。値の付く冬場に捕って販売するといった合理的な行動が取られている。また「鰻ヲ捕フルハ夏秋、すなわちその合間の夏・秋にはエビを獲っている」と記している。

三 宍道湖の越中網と柴手網



「越中網」

「出」雲石見魚漁図解^式の二・四に越中網一点と柴手網二点が収録されている。越中網は「麻糸ヲ以テ囊状ニ仕立てた網で、これを「松江大川」すなわち大橋川に敷設した。同資料には二隻の舟を網の内と外に配置した構図となっている。実際はこの網が大橋川流域に二重、三重に敷設され、八月より翌二月までの漁期にスズキ・ボラ・ハゼを捕る。一方、柴手網は、越中網と基本型が同じで、それに竹柵を同網に張り、中央部分に下り魚用、両端に上り魚用の網を漁期に応じて敷設仕分ける。そして、春柴手網はシラウオ・フナを、秋(冬)柴手網はスズキ・ボラ・ハゼを漁獲対象としていた。

四 江の川の鮎掛釣



「春柴手網」

アユ釣りは江の川・高津川等で使用されていたアユ釣りの漁具・漁法が報告されている。「出雲石見魚漁図解」四の十二番、「器名」アユ掛釣り針、「器具ノ製法」釣竿、釣り糸、たも網の道具一式が解説されている。掲載図は今でいう「アユの友釣り」を描いた構図である。使用法は、「長サ凡壹丈余ノ釣竿ニ釣緒一筋ヲ垂下シ、掛鉤二組「其の根糸ヨリ継ぎ、煤魚一尾ヲ鉤ヨリ少し上ニ繋ぎ」というような仕掛けがこの図にはつきり描かれている。釣り針より少し上にこのおとりのアユが仕掛けられている。そしてこのおとりのアユは「香魚ノ強健ナル者ヲ選ミ、鼻ニ継針ヲ貫キ之レニ縋糸ヲ付ス、漁夫川瀬ニ立チ之ヲ水中ニ投シ、遊泳セシムレハ、他魚寄来リ忽チ此鉤ニ掛ル」と。「之レヲ手網ヲ以テ汕ヒ捕ルナリ、漁獲ノ多キハ一旦、三百尾ヲ獲ルコトアリ」とある。史料ではおとりにしたアユを仕掛けてそれにアユが近寄ってくるという認識であるが、実際はアユがなわばりⁱⁱⁱを持っていて、よそ者が進入してくると逃げ散らし、その際にその針に引っ掛けて釣る技法である。当



「香魚懸釣」

五 因伯のシジミ漁



「シジミカキ」

時としてはこういう仕掛けをするアユの行動が結果として針に掛かり、釣れたのである。それが一日に多いときで三百尾も釣りあげている。川漁が盛んであった時代におけるアユの掛け釣りが江の川の代表的な漁具・漁法として描かれている。

最後に「因伯魚漁図解」下の二十四番に出てくる「シジミカキ」を取りあげる。「器具ノ製、すなわち漁具の材質などの説明に続いて使用法は「舟或ハ陸地ニ居テ水底ヲ掻ク、一挙三合ヲ得ルアリ」。「地形及地名」では鳥取側の「河村郡東郷池中所トシテ生ゼザルハ無シ」、すなわち東郷湖には至るところにシジミが生息し、「寒ニ蜆ノ多事驚ク可キナリ」とある。ただ漁期は、値の付く「冬時ニ非ザレハ採ル者無シ」とあり、冬場に限定されている。この理由は説明がないので詳細不明であるが、このシジミ漁は鮮度と旬から冬季に限定されたものと思われる。この措置はシジミ資源を消極的ではあるが、結果的に管理していたことになる。なお、「出雲石見魚漁図解」には宍道湖のシジミ漁の図解が欠けている。詳細は不明であるが、これは当時、宍道湖は現在ほどシジミ資源が豊かではなく、シジミ漁も盛んではなかったため、本「図解」に収録されなかったものと思われる。

おわりに

研究を進めていくなかで明治前期の関連の資料(北海道・根室県「漁獵採藻略説」から鹿児島県「甕海魚譜」まで)を見てきた。そこからは当時の殖産興業を図ろうとする関係者の熱意や意気込みがひしひしと伝わってくる。『平成二十年版水産白書』では伝統的に日本の漁業者が自ら管理の役割を担ってきた(漁業管理方式はCo-management)として世界的に広がりを見せているとしている。本資料はこのような漁業管理の歴史性や漁業の多様性・地域性(歴史個性)、さらに当時の人びとの「水産知」を理解する手立てとして歴史的かつ現代的な意義を持つであろう。

本資料を底本に翻刻と解題を付けて本年三月に『山陰の魚漁図解』(山陰研究シリーズ4)を今井出版から出版した。資料の閲覧・利用から出版まで比較的短時間でを行うことができたのはたいへん幸運であった。本館をはじめ関係の機関・各位に感謝申し上げたい。



山陰の魚漁図解

【本館2階郷土資料室 291.7/Sa63-14】

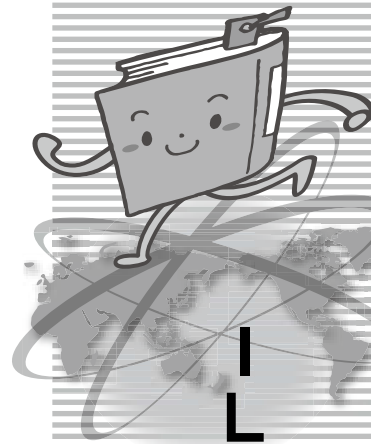
(511) やすひろ

i このズレは図と解が否と参で一いつつ過不足が見られるためである。

ii 篠原徹『海と山の民俗自然誌』(吉川弘文館一九九五年)参照。

iii 宮地伝三郎『アユの話』(岩波書店一九六〇年)参照。

図書館員のお仕事



ILL（文献複写／現物貸借）サービス —— 全国を飛びまわる図書や文献資料 ——

学術情報担当 米田政子

1. はじめに

ILL (Inter Library Loan) とは図書館間相互貸借のことです。図書館では、教員や学生の皆さんから複写申し込みのあった文献や島根大学で所蔵していない図書について、国立情報学研究所 (NII) の ILL システムを経由し、全国の大学図書館や国立国会図書館、その他の機関、あるいは国外から文献を取り寄せるサービスを行っています。

2002 年頃から、文献検索は冊子体の二次資料からオンラインデータベースにとってかわり、複写依頼の件数が飛躍的に増えてきました。いくつかのキーワードを指定するだけで、簡単に文献を探し集めることができるようになったのですが、表示される件数も半端ではありません。その中で必要と思われる文献が掲載されている資料が本学に所蔵されていないければ、複写を依頼するしかありません。

1970 年代初め頃の依頼件数は年間数百件でしたが、現在では約 4000 件に達しています。データベースの種類が増え、また、資料の電子化が進んでも、分野が異なったり年代が古いものは、まだ紙の資料が中心であったりします。研究・調査やレポート・卒論などには、文献も図書も必要不可欠なものです。このサービスは図書館

になくてはならない仕事の一つです。そんな状況の中、1992 年に ILL システムの運用が開始されたことは画期的でした。

私は、図書館での仕事は資料の受入れと目録業務が長く、図書館の専門分野の一環であるレファレンスサービス (参考調査) や ILL サービスは初めてです。図書館利用者の方が本来に必要とされる資料を探し求めて提供できることの大切さ、そのお手伝いや業務を通して触れ合うことこそ、図書館員らしい仕事だなと感じています。昔は文献を提供するまでに一カ月かかることもあったそうです。現在では、早くて 3、4 日、一週間内にはほぼ提供できるようになりました。

2. ILL システムとは

ILL システムとは、全国の図書館間で行われる文献複写や現物貸借に関わる業務の中で、図書や雑誌論文の所在調査や受付・依頼業務をシステム化したものです。

NII (当時は NACSIS) で 1992 年 4 月から運用開始されました。おかげで文献の特定や、所蔵している図書館の調査が簡単にできるようになりました。海外の図書館への依頼にも利用することができ、現在、ILL に加盟している機関は、国・

公・私立等の大学、高等専門学校、大学共同利用機関等の図書館、図書室等で、1000 館以上あります。また、このシステムでは文献の依頼だけではなく、料金の相殺サービスも行っています。これは文献複写などの料金について、加入機関ごとに一定の期間で、依頼に伴う費用と受付に伴う費用を相殺するものです。

相殺参加館以外の機関にも必要に応じて依頼を行います。

一方、このシステムからデータをダウンロードし図書館業務システムで予算管理などの業務も行っています。

皆さんの学習や研究、調査に必要な学術文献を提供するためには、文献調査をして、情報そのものあるいは必要とされる資料を確定します。そして、その資料を所蔵している機関等に利用が可能であるか確認し、複写依頼をします。同時に複数の所蔵機関を選ぶことができて自動的に転送されます。

その状況は図書館ホームページの MYPAC から確認できます。

【特徴】

1. オンライン処理で迅速化

依頼・受付の期間短縮、資料提供が迅速化

2. 総合目録データベースの利用

書誌確認・所在調査、最新情報の利用

3. 文献複写依頼

文献 (論文等) が掲載されている資料を所蔵していない場合は、文献複写依頼ができます。複写料金はそれぞれの依頼先の機関で異なり、それに送料が加わります。モノクロで 35 円 / 50 円 / 枚、カラーで 80 円 / 100 円 / 枚です。公費で依頼されたものは学内便で配送します。私費は登録された連絡先にお知らせし、図書館 1 階カウンターで料金の精算後に受け取りをしていただきます。業務時間外は「誓約書」の提出で受け取りができますので、3 日以内に料金の精算をして下さい。国外に依頼する場合は日数がかかり料金も高額になるため依頼する前に確認を取ります。

文献は OPA や電子リソースからの正確な情報をもとに依頼されると速

3. 依頼先の複数指定と自動転送
依頼先を同時に複数選べる
4. ILL レコードにより処理状況の確認
相互の利用状況確認
5. 海外への依頼
BLDSC
(英国図書館原報提供センター)
OCLC (米国)
KERIS (韓国)

やかに依頼ができます。情報源が曖昧な時は、確定するまでに時間がかかりますが、できる限り文献調査をして皆さんに提供できるようにしています。手間のかかるものほど、入手できたときはやりがいがあります。

文献が到着したらメールで通知します。

4. 現物貸借依頼

必要な図書を島根大学が所蔵していない場合は貸借依頼ができます。ただし、所蔵状況や資料の形態によつては借用が出来ないことや、館内のみ利用という制限がある場合もあります。館外利用を希望される時は申込時に通信欄にそのことを記載して下さい。できるだけ希望に添えるように依頼をしますが、できない場合もありますのでご理解をお願いします。貸借は1回につき3冊までが基本ですが、多巻ものはその時に応じて対処いたします。また、全学で依頼冊数が少ないときは、できるだけ依頼者に応じたいと臨機応変に対処しています。公費・私費ともに、受け取りは図書館1階カウンターです。私費は同時に費用を精算していただきます。費用(送料+返送料)は1000円〜1300円です。できるだけ安い方法で利用期間が長い機関を選びます。

年々、依頼冊数が多くなり、数年前は年間200冊程度でしたが、現在では約600冊に増えていきます。資料には所蔵機関が少ないもの、なかには貴重なものや禁帯資料もありますが、図書館からの依頼ということで貸借ができた時はうれしいですね。到着の連絡をしてから返却期限が迫っているのに受

け取りに來られないときがあります。再三、ご連絡を取ったりもします。資料の貸借は大学間の信頼関係で行われています。返却期限を厳守し、資料の扱いは丁寧をお願いします。

5. 経費について

(1) 公費

2010年度から、ILLシステム料金相殺サービスのデータをダウンロードし、一ヶ月毎に研究費から引き去りを行うことができるようになりました。その他に、教員より申請があれば、指導学生の公費利用もできます。この費用についても一ヶ月毎に研究費から引き去りとなります。

(2) 私費

料金相殺サービス参加館に依頼したものは現金扱いとなります。相殺参加館以外を利用したものは振り込みになります。文献の受け取り後は速やかに振り込みを行って下さい。

現物貸借の送料は現金扱いですが、返送料については資料の重さ・地域に応じて宅配業者が郵便で負担額が少ない方法を選びますので、現金と切手のどちらかで請求するようになります。

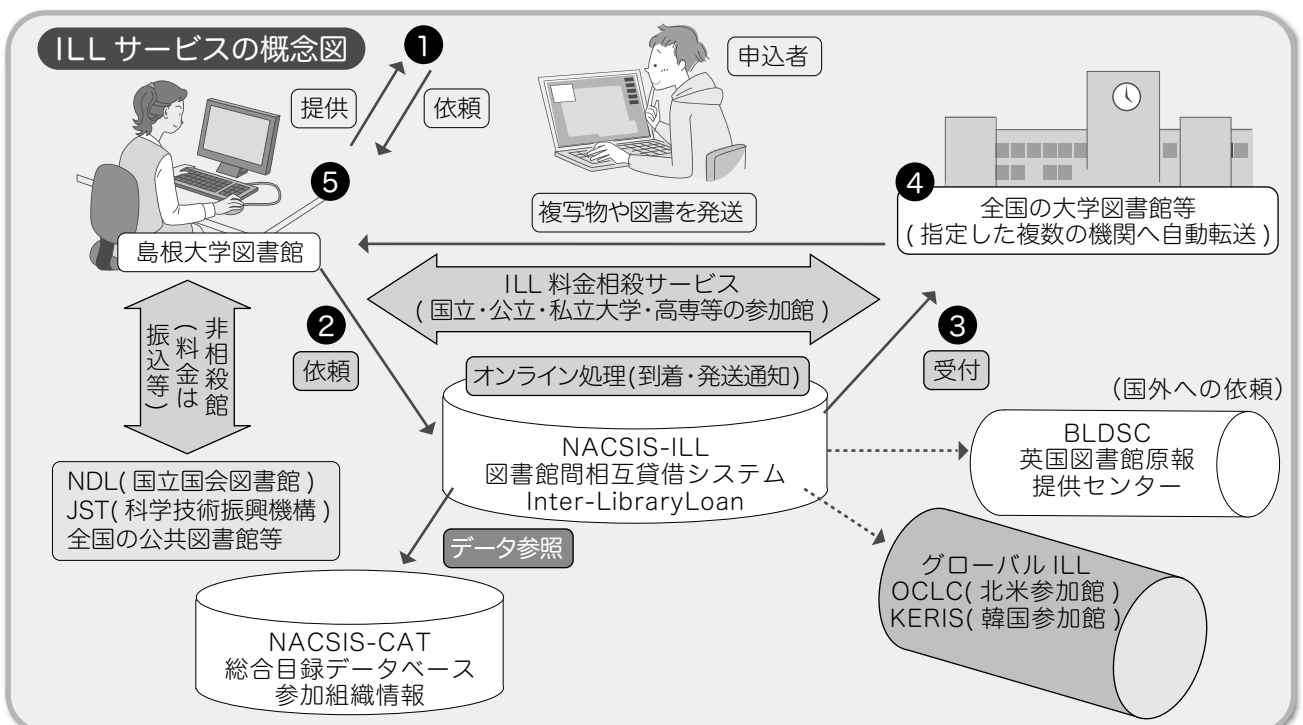
6. 求める文献の収集と入手方法

図書館では、文献の収集や入手方法について館内のメディアルームで実際にパソコンを使用して、課題を提供した講習会を開催しています。現在では、授業と連携して行うオンデマンド講習会が主です。それ以外でも、どんな内容でも気軽にいつでもお声をかけていただければ対応をしています。

研究テーマやレポート・論文作成についても図書館で利用できるデータベースの紹介をして、論文・図書の検索方法や、島大図書館独自のShimaneLINKSやMYOPACから簡単に文献複写・現物貸借依頼ができる方法を指導しています。

依頼される文献や図書の中には、OPACで検索をしてみると館内で利用できる資料が時々見つけられます。皆さんから依頼された文献を所蔵していれば、資料の所蔵先やWeb情報からの文献入手方法等をメール等でご案内していますが、自分で探すことができれば即座に利用することができます。OPACやデータベースの使い方をひとつひとつと知っていただくために講習会へ参加して下さい。お一人でもグループでも対応しています。

(よねだ まさこ)



情報活用ステップアップ講座

3

—レポート・論文作成、研究に役立つデータベースを使いこなそう—

Academic Resource Bank



電子リソース(各種データベース)の窓口
図書館HPから、まずはここにアクセス!

今回ご紹介するのは「新聞記事」です。皆さんの中には、最新の出来事や事件を知るための活字メディアとして、新聞よりインターネットを利用する人も多いと思います。また、ニュースサイトだけでなく、動画やソーシャルメディアなど、多種多様な情報にも日々接していることでしょう。

ただインターネットでは、無意識であれ、利用する各個人の好みにより情報が選ばれる傾向があります。一方新聞は、社会の主要なトピックをコンパクトにまとめてあり、総覧性が高い媒体です。インターネットで取りこぼした時事的な情報も、新聞なら効率的に収集できます。

また、過去の出来事を調べる手段としても、新聞はとても有効です。図書館では、複数の新聞を原紙やマイクロフィルムなどで保管しているほか、キーワードや年代などから古い記事を探すことのできるデータベースも提供しています。ぜひ活用してください。

紙媒体



本館



当日分は1Fロビーに

過去1年分は2Fエレベータ横
それ以前は5F書庫にあり

資料の特性にあった使い方をすることが大事なんだ!



けんさく君

年代によって保管場所が異なりますので、詳しくはホームページをご覧ください。本館には、原紙以外にも、縮刷版や複製版、特定分野の新聞記事をスクラップした『切抜き速報』もあります。

新聞記事を使いこなそう!

何が使える? どう使う?

原紙

朝日新聞 山陰中央新報
島根日日新聞 日本経済新聞
毎日新聞 読売新聞
Japan Times
New York Times など

医学図書館



当日分は、1Fロビーに
過去3ヵ月分を階段下に保管

縮刷版(本館)

本紙を縮小して1ヶ月分をまとめたもの。

検索に適する

一覧性に優れる

新聞記事データベース

図書館では新聞記事を検索して全文表示できるデータベースを提供しています。当日の記事もその日のうちに掲載されるため、速報性にも優れています。

←詳しくは次のページをご覧ください。



みいなちゃん

キーワードはもちろん、特定の日付の新聞を探すのも簡単よ。本文もその場で読めるから、とっても便利ね。

マイクロ資料(本館)

主要な新聞では、マイクロフィルムやマイクロフィッシュが利用できるものもあります。



原紙をマイクロフィルムに撮影したもので、専用の読取機器を使う。利用する場合、カウンターでの手続が必要だ。



ライム博士



電子媒体

■収録内容

- ・朝日新聞創刊号(明治12[1879]年)から最新号までの記事が検索・利用できる(昭和59[1984]年以前は紙面イメージ)。
- ・地方版も、1997年1月から沖縄を除く全都道府県版を収録。
- ・『アエラ』『週刊朝日』の記事全文を収録。
- ・時事用語の意味を調べられる『知恵蔵』や著名人DBも収録。

■同時アクセス数:2



過去の出来事や事件を調べる時は、信用できる情報源にあたることも重要。同じ話題でも、新聞によって違う視点から書かれていたりするので、読み比べてみるのも面白いよ。

■収録内容

- ・読売新聞創刊号(明治7[1874]年)から最新号までの記事が検索・利用できる(昭和60[1985]年以前は紙面イメージ)。
- ・地域版(島根県)は1999年6月以降の記事を収録。
- ・The Daily Yomiuriの記事も1992年以降は原則全文収録。
- ・著名人DBも利用できる。

■同時アクセス数:1



聞蔵IIビジュアル

朝日新聞記事データベース

ヨミダス歴史館

読売新聞記事データベース

JapanKnowledge+

多様なコンテンツを搭載した巨大データベース



辞典・事典類が豊富なので、新聞に載っていた時事用語の意味を知りたい場合など、学習の色々な場面で使えるのがジャパンナレッジだ。

コラムなどの読み物もあり、勉強の合間の暇つぶしに覗いてみるのもいいかもしれないな。



■収録内容

- ・百科事典、辞書、ニュースなど多様なコンテンツが利用できる。
- ・『情報・知識imidas』(集英社)、『現代用語の基礎知識』(自由国民社)など、時事用語を調べるのにも最適。
- ・『日本大百科全書』(小学館)、『国史大辞典』(吉川弘文館)をはじめ、各種用語辞典、語学辞書(漢字・英和・和英・英英)、人名事典等を収録。

■同時アクセス数:2

日経テレコン21

日経記事だけでなく就活にも使える情報が満載!



就職活動にも利用できるのが企業検索。全国主要3万社の企業情報や、主要貸借対照表、損益計算書なども検索できるのよ。

ちなみに私は、POSランキングで最新の売れ筋商品をチェックするのが好きなの♪



■収録内容

- ・日経、日経産業、日経MJ(流通)各紙の記事全文を収録。
- ・企業情報、人事情報、株価・債権情報など幅広いビジネス情報が利用できる。

■同時アクセス数: 無制限

著 自 紹 介



①神話論理の思想

出口 顯 著
みすず書房 2011.4

②読解レヴィ＝ストロース

出口 顯 編著
青弓社 2011.6

二十世紀後半を代表する文化人類学者といえば、多くの人がクロード・レヴィ・ストロース（1908―2009）の名前を挙げるだろう。彼の立場は構造主義と呼ばれ、文化人類学だけにとどまらず、ひろく現代思想に大きな影響を与えた。

日本では1960年代終わりからサルトルの実存主義にかわる新たな思想としてブームになった。しかし『親族の基本構造』『野生の思考』『神話論理』などの主著が訳される前に構造主義のブー

ムは終わる。つまり、多くの人がレヴィ・ストロースを読むことなく、レヴィ・ストロースについて語りそして忘れていったのである。今では文化人類学内部でも、とりわけ若い世代で、レヴィ・ストロースが読まれることは稀であろう。

しかし、丹念にレヴィ・ストロースを繙く時、これまでのレヴィ・ストロース論の多くが、誤解に基づいた不毛な批判であり、今でもなお、その思想が傾聴に値するものであることに気づかされる。レヴィ・ストロースが省みられない今こそ新たなレヴィ・ストロースの可能性について思考を進めてみることに、それを試みたのが『神話論理の思想』と『読解レヴィ・ストロース』である。

『神話論理の思想』では、総数二千を越える南北アメリカの先住民神話を構造分析した『神話論理』（原著は全四巻、翻訳は全五巻）を、巻を追って読み解き、そこに込められたレヴィ・ストロースの思想を別出するとともに、その問題意識をさらに展開させることを試みた。『読解レヴィ・ストロース』は1960年代末から最近に至るまでの日本人研究者による刺激的なレヴィ・ストロース論をまとめたリーディングスである。文化人類学者だけでなく、社会学者、哲学者などの論考も収めた。『序論 失われたレヴィ・ストロースの復権』では、なぜ日本ではレヴィ・ストロースが誤解されたかを考察してみた。

2冊の本は、2010年度のサバティカル研修の成果である。機会を与えていただいた大学当局にあらためてお礼申

し上げたい。

（法文学部 文化人類学

教授 出口 顯 でぐち あきこ）

【①本館1階閲覧室 16-5/DS3

②本館1階閲覧室 389/DS3】



基準看護計画： 臨床でよく遭遇する 看護診断、潜在的 合併症と基準看護計画 2版

矢田昭子・秦美恵子編集
島根大学医学部附属病院
看護部 編著
照林社 2011.5

「看護診断」をご存じですか？医師が行う「医学的診断」と同じように看護師が行う「看護診断」のことです。看護診断は医学的診断とは異なり、対象者の生活上の問題に焦点を当て、対象者（患者や家族）に起こっている問題を看護の視点でアセスメントします。そして、アセスメント結果をふまえ、対象者に起こっている問題現象の構造やその原因について、看護師間で「共通認識」できるように簡潔な表現でまとめていきます。

本書の初版は、島根大学医学部附属病

院の看護師たちが、日々臨床で質の高い看護を目指し、看護診断に取り組み、検討した結果をまとめました。初版の発刊から13年が経過し、たくさんの方々の看護師や看護学生から臨床現場で活用しやすいという意見を多くいただきました。

今回紹介する第2版は、効果的・効率的な看護サービスを求められる臨床現場の中で、看護の専門性が発揮できることを目指し検討しました。内容は私たちが臨床でよく遭遇する看護診断を追加および選択しなおし、病態生理や診断指標などの資料をふんだんに盛り込み、根拠に基づいたアセスメントができ、個性のある看護計画立案ができるように工夫しています。さらに、患者および家族が退院後も継続して疾病や症状の管理が行えるように、入院時から退院支援ができるような内容に修正しました。

この本は看護基礎教育や臨床での看護実践に役立てたい思いから、臨床実習や卒後教育にかかわっている看護師と看護学科教員とがコラボレートして生まれました。現在、活用いただいている看護師たちからは、資料がふんだんに使われているので根拠が理解しやすく、疾患の理解及び知識向上として活用できる、看護診断の妥当性の検証に活用できる、などの多くのご意見を寄せていただいています。

（医学部 看護学科

准教授 矢田昭子 やた あきこ

医学部附属病院 看護部

部長 秦美恵子 はた みえこ）

【医学図書館2階図書 WY100-4/SH1】

職員寄贈図書紹介(平成22年12月～平成23年8月)
本学職員の自著を寄贈していただきました。

芦田耕一 (法文学部・現名誉教授)	出雲文化圏と東アジア 「出雲歌壇」覚書
上園昌武 (法文学部)	環境の政治経済学
渋谷 聡 (法文学部)	大学で学ぶ西洋史 (近現代)
田中則雄 (法文学部)	続 松江藩の時代：松江開府 400 年 雲陽秘事記と松江藩の人々
出口 顕 (法文学部)	神話論理の思想：レヴィ＝ストロースとその双子たち 読解レヴィ＝ストロース
毎熊浩一 (法文学部)	しまね NPO 読本 2011：読んで納得・知って得する・あなたの身近な NPO
村瀬俊樹 (法文学部)	社会 - 文化的環境における子どもの語彙獲得
高瀬彰典 (教育学部)	小泉八雲の日本研究：ハーン文学と神仏の世界
竹田健二・福田哲之 (教育学部)	概説中国思想史
作野広和 (教育学部)	地域と人口からみる日本の姿
福田哲之 (教育学部)	出土資料と漢字文化圏
矢田昭子・秦美恵子 (医学部)	基準看護計画：臨床でよく遭遇する看護診断、潜在的合併症と基準看護計画第 2 版
伊藤康宏 (生物資源科学部)	山陰の魚漁図解
下房俊一 (名誉教授)	見立て番付を楽しむ：遊びと心と本音が生んだ江戸時代のランキング情報誌
廣嶋清志 (名誉教授)	人口減少時代の地域政策
島根大学附属図書館ハーン図書 出版編集委員会	ニューオーリンズとラフカディオ・ハーン：「死者たちの町」が生む文化混淆の想像力

附属図書館研究開発室のハーン研究会のメンバーが中心となり、平成 23 年 3 月に『ニューオーリンズとラフカディオ・ハーン』を刊行しました。本書のベースとなっているのは、平成 20 年 10 月に島根大学附属図書館、島根県立図書館、松江市立図書館の 3 館合同で開催した企画展示「シンポジウム「アメリカのラフカディオ」」です。

『怪談』や『知られざる日本の面影』などの作品で文学者としてのイメージが強いハーンですが、来日前はアメリカのシンシナティとニューオーリンズで、新



ニューオーリンズとラフカディオ・ハーン：
「死者たちの町」が生む文化混淆の想像力
島根大学附属図書館
ハーン図書出版編集
委員会編
今井印刷 2011.3

**出版
報告**

聞記者をしていました。私たちは、風刺、ユーモア、正義感に溢れたハーンの記事のユニークさに注目し、これまであまり取り上げられなかった新聞記事のわかりやすく紹介するとともに、そこから読みとれる記者時代のハーンの思考や表現手法、さらに 19 世紀末アメリカという時代について考察してみることになりました。

第 1 章はガイドブック風の内容で、ニューオーリンズの昔と今を紹介します。松江市と姉妹提携を結んでいるニューオーリンズの歴史、食、音楽、文化などについて理解が深まるとともに、新たな一面を発見できることでしょう。ニューオーリンズ時代の新聞「デイルリー・シテイ・アイテム」紙の記事の中から 30 点ほどを選び出し、「挿絵」「翻訳記事」さらにコラム風「解説」を付して紹介した第 2 章は本書の目玉で、既刊書にはないユニークな構成となっています。第 3 章は研究者向けの内容で、新聞記者という職業や急激な近代化に翻弄された時代背景、そしてニューオーリンズ固有の文化の中で、ハーンは何を感じ、どのように生きていたのか、後の文学者としてのハーンにどのような影響を与えたのかを探ります。一般の方も研究者の方も、おもしろく読める内容になっています。

(附属図書館
小豆澤悦子 あずきざわ えつこ)

【本館 3 階八雲文庫室 930.268/4511】

【医学図書館 2 階図書 930.5H1】

図書館コンシェルジュ報告

Library Concierge Report

皆さんこんにちは！私たち図書館コンシェルジュは本年度14名で活動しています。今ではエプロン姿もすっかり馴染みになったでしょうか？十人十色のコンシェルジュたちは多種多様。今回はたくさんの方の活動の中からいくつか抜粋してお伝えします。

図書館利用サポート

私たちは、文献の探し方や、図書館の有効な使い方などを、学生の立場に立つてサポートする活動を行っています。

本年度は人数が増えたため、平日の活動時間帯にはコンシェルジュがサブカウンターに常駐しています。昨年度は利用者から質問があまり寄せられなかったことが悩みでしたが、本年度は認知度が上がったことであつてか、サブカウンターにいたるときだけでなく、図書の返却中にも声をかけていただくことが増えました。嬉しい事です。



ね♪今後も図書館を利用していてわからないことがあれば、皆さんどうぞ気軽にねなくおたずねください。

スタートアップセミナーとの連携

今年度、島根大学の初年次教育プログラム「スタートアップセミナー」と連携したサポートを新たに行いました。一年生を対象としたこの授業では、受講生は各グループに分かれて文献調査やフィールド調査を行い発表をしました。今回、私たちはその発表をまとめるために必要なバスファイターの作成を図書館職員と協力しながら行いました。授業で指定されたテーマに関する図書や文献をコンシェルジュが分担して調べ、授業で配布しました。このバスファイターを持つて受講生が来られた際に、文献の案内や内容の助言を行うのがコンシェルジュの役目でした。初めての試みだったため戸惑いもありましたが、非常に多くを学んだ体験となりました。

うちの貸し出し

今年は「節電の夏」が叫ばれています。本学の図書館でも小さなことから貢献していこうということで、うちの貸し



出しを行いました。コンシェルジュ自身のことや活動日誌(ブログ)をアピールするため、涼しげな写真とともにうちのをリメイクしました。リメイク前は無料配布と思われたのかいくつか持っていわれてしまったうちわも、リメイク後には皆さんきちんと返却してくださるようになりました。

館内マップ改良

昨年度のコンシェルジュが作成した館内マップの拡大版が現在1階、2階に配置されています。時折マップの前に立ち止まって位置を確認していらつしやる方もいらつしやいますね。手前みそですが、以前のものと比べると非常にわかりやすく、以前のものと比べると非常にわかりやすく改良を加え、さらに見やすくなった手持ちマップを配布しています。マップ内指南役のエプロン姿の女の子と女の子のイラストもコンシェルジュ作のものですよ。ぜひご活用ください。



と女の子のイラストもコンシェルジュ作のものですよ。ぜひご活用ください。

Lime編集

毎月発行されている図書館ニュース「Lime」を皆さんご存知ですか？館内のラウンジコーナーや学習机の上など至るところに置いてあるあれです。7月からこのLimeの編集作業もコンシェルジュのメンバーが行っています。利用案

内やコンシェルジュの活動報告、書評など気になる内容がぎゅっと詰まっていますので、まだ読んでいない方はこれを機にチェックしてみてくださいね。

<http://lib.shimane-u.ac.jp/o/lime/no026.pdf>

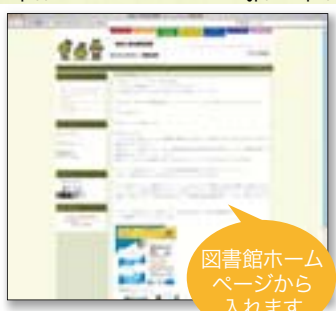


図書館コンシェルジュがいかにたくさん活動をを行っているか理解していただけたでしょうか？他にも地味な作業から派手な作業まで(？)日々一生懸命取り組んでいます。こんな多彩な顔ぶれが揃ったコンシェルジュの仲間入りをしてみたいなあなた。来年度ぜひ応募してくださいね♪これからもどうぞよろしくお願ひします。

人文社会科学研究科 荒川宏子
(あらかわ ひろこ)

ブログやっています！

コンシェルジュ活動日誌
<http://www.lib.shimane-u.ac.jp/xoops/>



図書館ホームページから
入れます

● 研修報告

平成22年度

CSI委託事業
報告交流会
(コンテンツ系)

資料整備担当 矢田 貴史

日時 平成23年6月13日(月)～14日(火)
会場 学術総合センター 一橋記念講堂

島根大学附属図書館では、平成20年度より国立情報研究所の最先端学術情報基盤整備計画(CSI-Cyber Science Infrastructure)による委託事業として、遺跡資料リポジトリ・プロジェクトを進めています。

このプロジェクトは、考古学分野の基本資料である遺跡の発掘調査報告書を全文電子化し、インターネット上で提供しようとするものです。遺跡という貴重な文化遺産の記録でありながら、発行部数が少なく流通範囲も限定されている報告書を、誰もが教育や調査・研究に利用できるようにすることを目指しています。

報告交流会では、委託をうけた全国の各機関が平成22年度に実施した事業内容について成果報告をした後、質疑応答やパネルディスカッションを通して活発な意見が交わされました。



本学も遺

跡資料リポジトリ・プロジェクトの代表機関として、全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト―灰色



文献グリーン化作戦」と題した成果報告を行いました。全国規模のプロジェクトとなりコンテンツが順調に増えてきていること、国立情報研究所の提供するクラウドを活用していることなどを中心に報告を行い、高い評価を受けることができました。お昼休みを使つてのポスターセッションも、各機関が持ち寄ったポスターの前で質問を受けたり、お互いに自機関の取り組みをPRしたりと大変盛況でした。他機関の興味深い取り組みを知ることでも大変貴重な機会でした。

(やだ たかふみ)

参考

平成22年度CSI委託事業報告交流会(コンテンツ系)
<http://www.nii.ac.jp/irp/event/2011/debrief/>
全国遺跡資料リポジトリ
<http://rarecom.lib.shimane-u.ac.jp/>

リポジトリってなに？

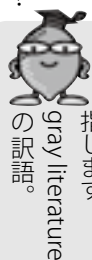


リポジトリとは、様々な学術情報を収録した「電子書庫」です。リポジトリに登録された学術情報はインターネット上に無償で公開され、誰でもどこからでも利用できるようになります。大学などの研究機関が運営する学術機関リポジトリは、国内では約150あり、各機関に所属する研究者の発表した学術論文など、膨大な数の研究成果が利用できるようになっています。

灰色文献ってなに？



学術的な価値はあるものの、非売であったり、発行部数が少なかったりして、一般にあまり流通せず手に入れない資料群を指します。gray literatureの訳語。



EVENT & NEWS

2010(平成22)年11月～2011(平成23)年7月

本館

留学生のお国自慢展示 2010.11

12月に学内で開催された「留学生との交流会」のPRを兼ねて、図書館1階の展示コーナーに、島根大学留学生の出身国の名産品が展示されました。インターナショナルな展示に、思わず足を止めて覗き込む人も多かったようです。

中国四国地区国立大学貴重資料パネル展示会

2010.11.16～11.28

岡山市デジタルミュージアムにおいて、「城下町絵図」をテーマにパネル展示会が開催されました。本学からは「松江城下・今昔」と題し、堀尾期、京極期、松平期の絵図をもとに、現代と比較したパネルを展出了。

企画展示「出雲・石見の人々と近世文学」

2010.11.17～11.23

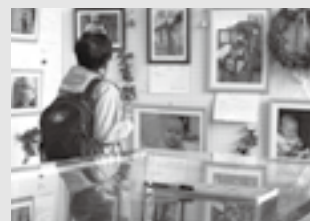
日本近世文学会が島根大学で開催されるのに伴い、大会事

務局との共催で開催しました。「収集家」「読者」「作者」の3つの視点から、本館の所蔵資料を紹介しました。開催期間中233名の入場者がありました。

「世界の子どもの笑顔」写真展

2010.11.30～2011.2.7

図書館1階展示コーナーで、学生による写真展を開催しました。子どもたちの屈託のない笑顔からは、戦争や貧困、飢餓に苦しむ国にあって精一杯明るく生きようとする姿が伝わってきました。



全国遺跡資料リポジトリ・オープンカンファレンス

2010.12.17

平成20年度にスタートした、国立情報学研究所CSI委託事業「遺跡資料リポジトリの構築」は、本学が代表機関となって

います。平成22年度は大阪大学でオープンカンファレンスを開催しました。大学の担当者をはじめ、研究者、自治体関係者など81名の参加があり、活発な討議が行われました。

ラウンジ誕生 2010.12

旧新聞閲覧コーナーをラウンジ風にレイアウトし直し、ちょっとひと息つける“くつろぎコーナー”ができました。

このコーナーでは、蓋つきの飲み物と、周囲の迷惑にならない程度の携帯電話を利用することができます。



ラフカディオ・ハーン関連図書 2011.3.3

附属図書館編集による『ニューオーリンズとラフカディオ・ハーン―「死者たちの町」が生む文化混淆の想像力―』を刊行しました。本書は来日前にアメリカのニューオーリンズで新聞記者をしていたハーンを取り上げたものです。学術的な内容をもつ一方で、観光ガイドには載っていないニューオーリンズの知られざる一面や、ハーンが書いた挿絵入り記事の翻訳など、一般の方でも面白く読める内容になっています。

出版記者会見/パネル展示 2011.3.15 / 2011.3.15～6.5

附属図書館において図書出版の記者会見を行いました。地元紙記者の熱心な質問に、発表側も解説に熱が入り、興味深くためになる話を聞くことができました。

出版にあわせ、1階展示コーナーでパネル展示をしました。ハーンが新聞記者としての生活をスタートさせたシンシナティから始まり、ニューオーリンズという様々な文化が混淆する町と急激に近代化が進む19世紀末アメリカという時代の中で、記者として、さらには文学者としての才能を開花させていく足跡を紹介しました。

図書館コンシェルジュ 2011.4.27～

平成23年度の図書館コンシェルジュは、昨年度から継続の4名と、新たに10名の学生が加わり総勢14名にパワーアップして始動しました。



今年度は、サービスカウンターと閲覧室のフロアを活動場所に、学生の皆さんの図書館利用をサポートします。

不用雑誌の無料提供会 2011.4.27～4.28

保存年限の過ぎたブラウジングの雑誌を無料で提供しています。5回目となった今年は、約半分の資料を持ち帰っていただき、有効活用することができました。

新任教員の図書館ガイダンス 2011.5.11

新任教員を対象とした図書館ガイダンスを開催しました。7名の参加があり、図書購入、データベース・電子ジャーナルの概要、学術情報リテラシー講習会、学術情報リポジトリなどの説明と館内ツアーを行いました。

学生選書ツアー 2011.5.25

今回は1回生から院生まで総勢15名の参加があり、に

ぎやかなツアーになりました。1時間半で、187冊の図書を選ぶことができました。



「世界の子ども」写真展 2011.6.6～8.31

図書館1階展示コーナーで、「世界の子ども写真展」を開催しました。昨年末に開催した写真展の第2弾で、今回は島大名誉教授榎野尚先生と一緒に学生、NPO法人関係者がアジア各国で撮影した写真の一部です。子どもの笑顔は、私たちに生きる勇気を与えてくれます。東日本大震災で被災された方々への気持ちも込めて展示しました。

事務職員のための情報検索講習会 2011.7.13

事務職員を対象に、情報検索講習会を開催しました。5名の参加があり、図書館の概要、OPAC、新聞や法令データベースの検索方法を説明しました。これからの業務に役立ててもらえればと思います。

医学図書館

第7回島根県病院図書室セミナー 2010.12.7

今回のセミナーでは研修として、「文献検索講習会－PubMedの使い方」を実施しました。医学図書館職員の説明の後、各自パソコンで演習をしました。県内の病院図書室から15名の参加がありました。



卒業生から図書の寄附 2011.3.22

平成22年度医学科、看護学科の卒業生謝恩会から、卒業記念として図書(医学科:13タイトル、看護学科:23タイトル)を寄附していただきました。後輩たちに大いに利用されることでしょう。



新規採用病院職員オリエンテーション 2011.4.4

看護部及びリハビリテーション部の新規採用職員を対象としたオリエンテーションを開催しました。図書館の利用方法、文献検索の方法などについて説明しました。67名の参加がありました。

講座等事務職員図書館利用説明会 2011.5.26～5.27

講座の事務職員を対象に図書館利用説明会を開催しました。計18名の参加があり、図書・雑誌の購入手続き、文献複写、電子ジャーナル、データベースの利用方法などについて説明しました。

